

ポイント-4： 戦略的な維持管理

◆ 日常的な維持管理

道路施設の点検、補修、清掃などの日常的な維持管理を着実に実施します。



道路パトロール



不具合の早期発見・補修



道路施設の清掃

【特殊車両の取締り】

- ・特殊車両の通行は、道路の構造を保全し、交通の危険を防止するため、道路管理者による許可制となっています。
- ・総重量20tを超える特殊車両で重量を違法に超過している車両は全走行車両のうちのわずか0.3%ですが、橋梁の劣化には約9割以上の影響を与えており、道路を劣化させる主要因となっています。
- ・大阪府では、平成27年度より処分基準を厳罰化しており、所轄警察署の協力を得て、違反者に対する指導・取締りを引き続き強化していきます。

※特殊車両とは、車両寸法が長さ12m、幅2.5m、高さ3.8m、重量20tのいずれか一つを超える車両のことです。



【府民・企業との連携による維持管理】

府民や企業との協働の輪を広げ、清掃・緑化をはじめ地域課題の解決に向けた取組みを進めます。



中環をきれいにする日



※アドプト・ロード・プログラム



企業と連携した民有地緑化例

※アドプト・ロード・プログラム

アドプト・ロード・プログラムは、府が所管する道路の一定区間において、地域の団体などが継続的に美化活動を行っていただくものです。

◆計画的な維持管理

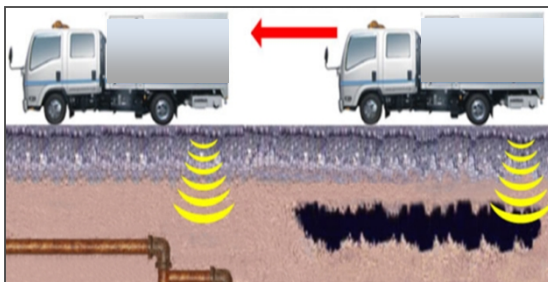
効率・効果的な維持管理の充実・強化のため、平成26年度に策定した「大阪府都市基盤施設長寿命化計画」に基づき、施設、設備の点検、劣化状況の診断、健全度の評価、補修、更新を実施し、施設、設備の更なる長寿命化、機能維持に取り組みます。

【点検手法の充実】

道路施設の致命的な不具合を確実に把握するため、橋梁やトンネル、モノレールなどは5年に1回の近接目視点検を実施し、不可視部分については、道路路面下空洞調査などの新技術の導入により、点検手法の充実を図ります。また、点検結果に基づき健全性を評価するとともに、蓄積したデータを活用して適切な施設の維持管理に努めます。



橋梁や標識の点検



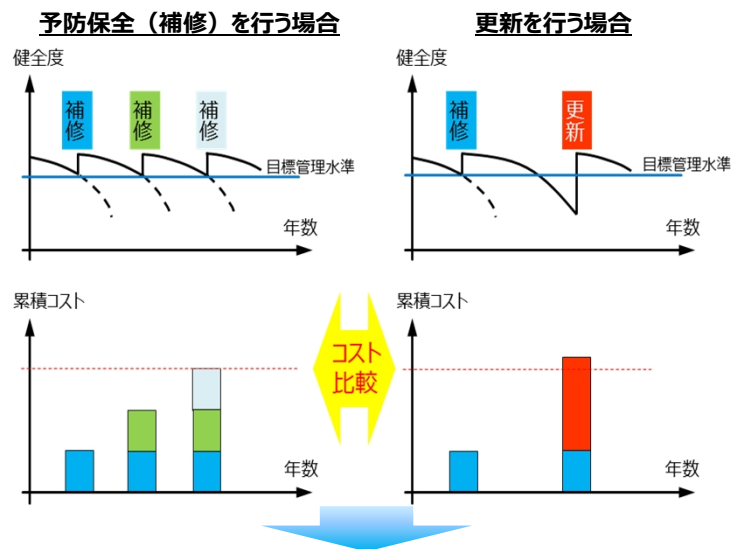
路面下空洞調査（舗装点検）



走行型画像計測（トンネル点検）

【施設の特性に応じた維持管理手法の体系化】

施設の安全性確保と将来に渡る維持管理費（ライフサイクルコスト）低減の観点から、施設の損傷や劣化が進行する前に補修を実施する「予防保全」を原則としながら、施設毎の特性や重要度を考慮し最適な維持管理手法を設定します。また、施設の健全度、耐震性能の要求度の高まり、経済性などを総合的に評価し、施設更新の必要性を判断していきます。

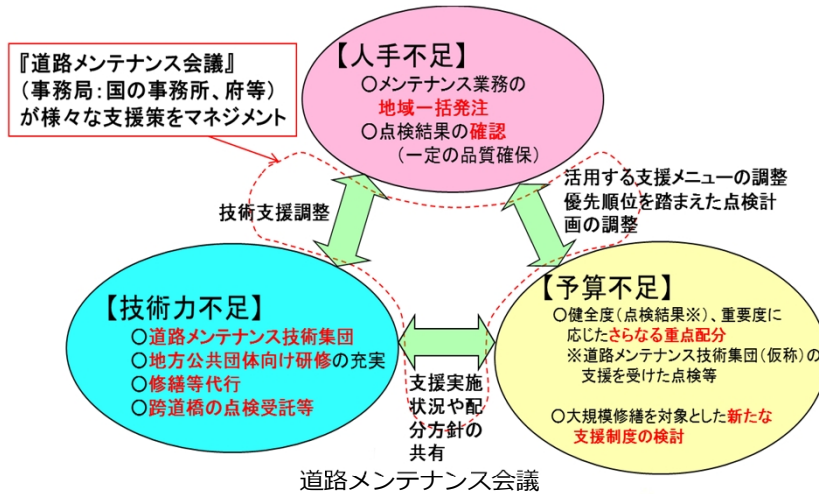
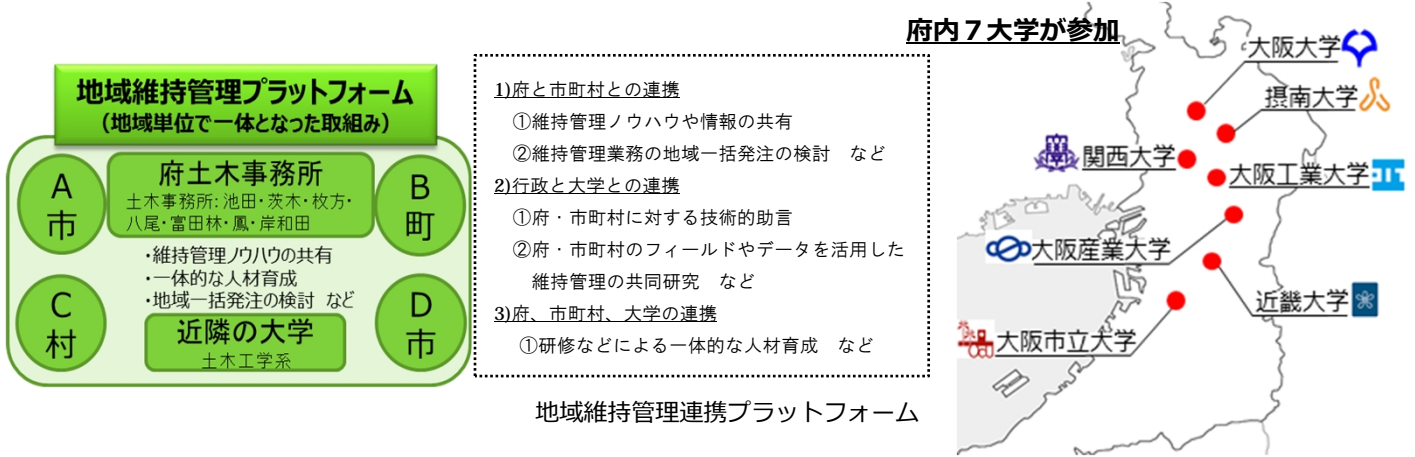


適時、適切な保全対策により、ライフサイクルコストを低減

【人材育成や技術力向上に向けた取組み】

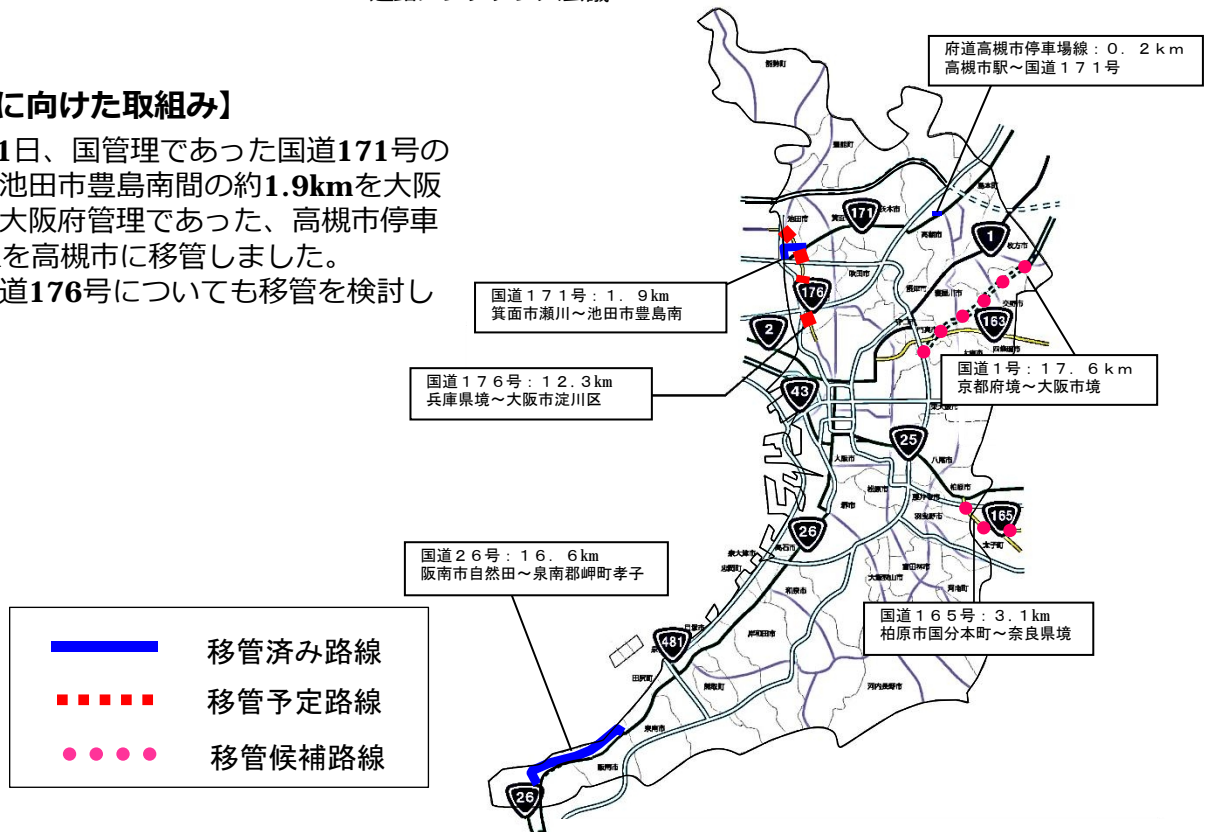
国、大学や管内市町村と連携しながら地域維持管理連携プラットフォームや道路メンテナンス会議を活用し、維持管理における人材育成、技術連携に取り組みます。

また、効率的かつ効果的な維持管理に取り組むため、道路、港湾、海岸、公園、河川について、データを一元的に管理し、施設の劣化予測や補修対策の検討に活用する維持管理データベースの開発を進めており、平成31年度からの市町村共同利用による本格運用をめざしています。



【道路の移管に向けた取組み】

平成31年4月1日、国管理であった国道171号の箕面市瀬川～池田市豊島南間の約1.9kmを大阪府に移管し、大阪府管理であった、高槻市停車場線約0.2kmを高槻市に移管しました。引き続き、国道176号についても移管を検討していきます。



◆維持管理のための財源の確保

道路の維持管理に使用する費用を確保するための取組みを進めています。

【ネーミングライツ事業】

道路施設の名称（通称）の命名権を企業などに売却
歩道橋：平成21年度から平成30年度までに24橋実施。

【平成30年度実績：約570万円（19橋分）】

（平成27年度からは橋梁・トンネルについても公募を開始。）



▲一般国道170号
伊加賀歩道橋(枚方市)

【道路施設を活用した広告事業】

千里中央駅の連絡通路において、平成24年度から平成30年度までに
支柱6本で広告を掲出。

【平成30年度実績：約49万円（1本分）】



▲千里中央駅 連絡通路
(豊中市)

【光の回廊づくり「アドプト・ライト・プログラム」】

企業と大阪府が協働で道路照明灯の日常点検・維持管理を行うもので、
参加企業には1灯あたり年間2万円を協賛いただきます。

【実績】

平成19年度から平成30年度までに182灯で実施

【平成30年度実績：約70万円（45灯分）】



【歩道橋リフレッシュ事業】

企業等に歩道橋の塗替え費用を負担して頂く代わりに、病院、
大学、大規模商業施設などへの道先案内を表示するものです。

【実績】

平成17年度から平成30年度までに13橋実施

【平成30年度実績：約180万円（3橋分）】



▲府道 京都守口線 枚方市駅前横断歩道橋
(枚方市)

【高架下・道路予定区域の有効活用】

高架下や道路予定区域を民間事業者に貸し出すことで、地域の活性化を促進するとともに、土地の
使用料を道路の維持管理に有効活用しています。

【平成30年度実績：約10,000万円（41箇所分）】



▲国道423号榎坂高架橋下
(吹田市)



▲国道170号新町跨道橋高架下
(東大阪市)